

橘 明るさとコントラスト

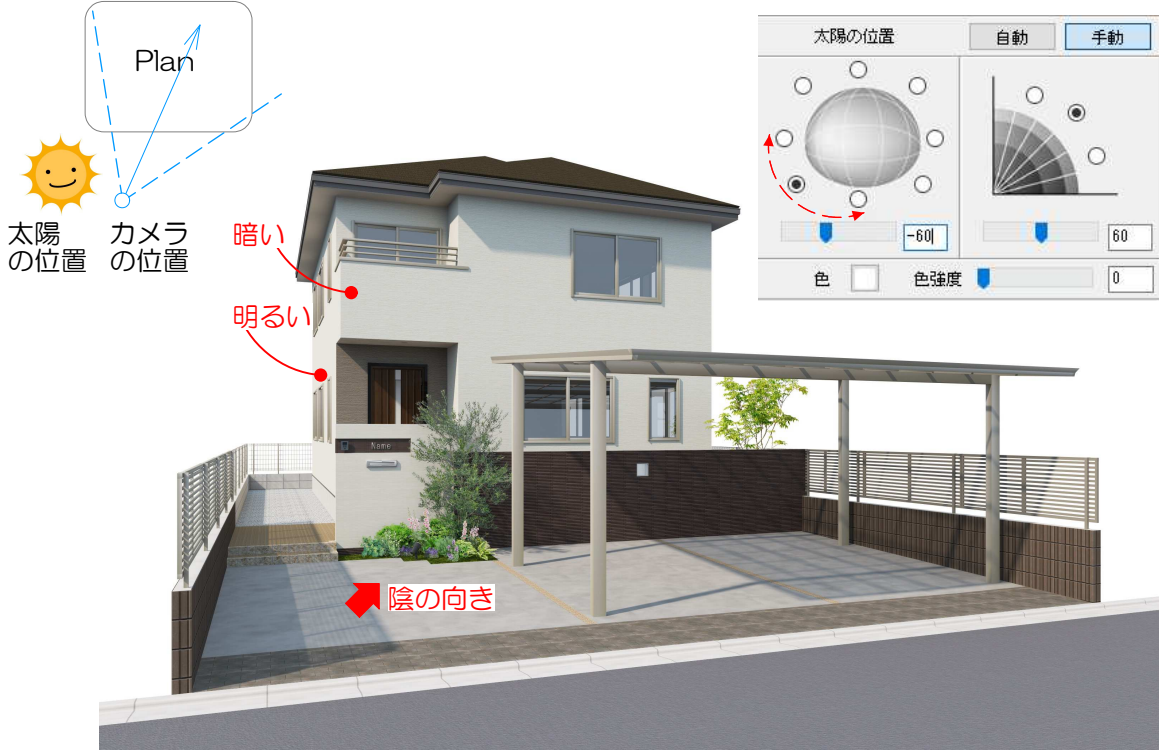
※1 橘仕上は橘レンダリングを導入いただいている方が使える機能です。

※2 操作はO7CAD2.5以上の説明画面です。

①太陽の位置や高さでパースの表情が変わります。（陰の落ちる方向でガラッと印象が変わります。）

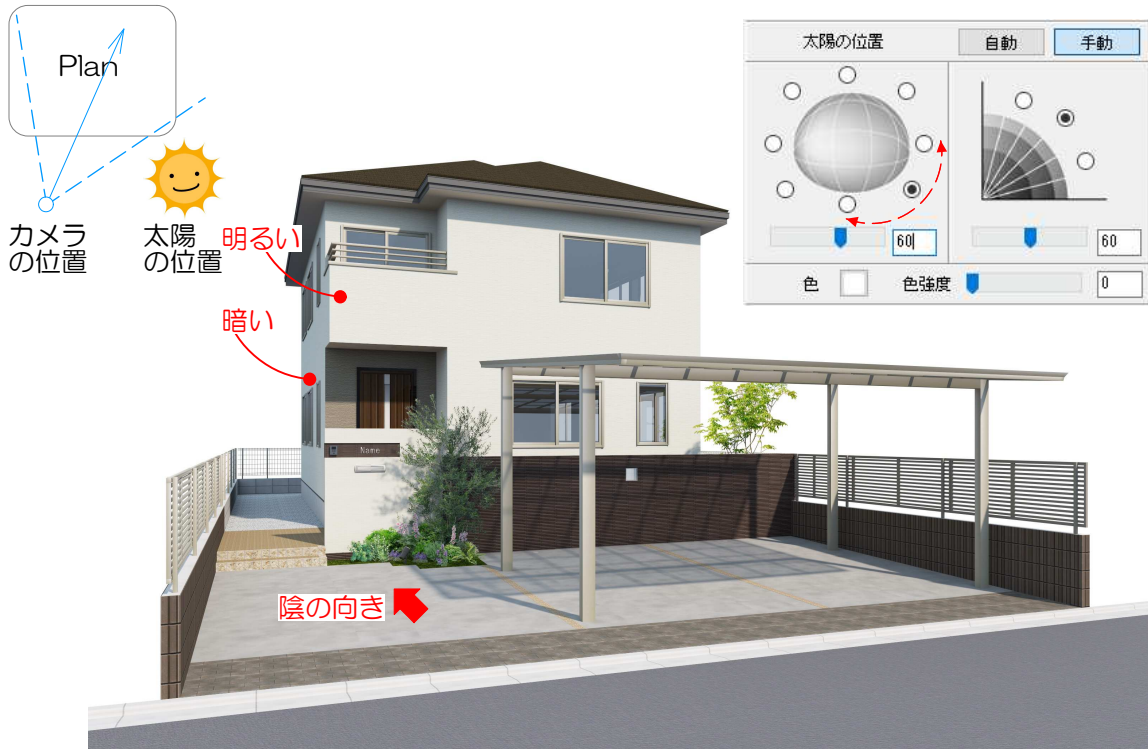
イメージA 効果設定「パース_昼_TACHIBANA」

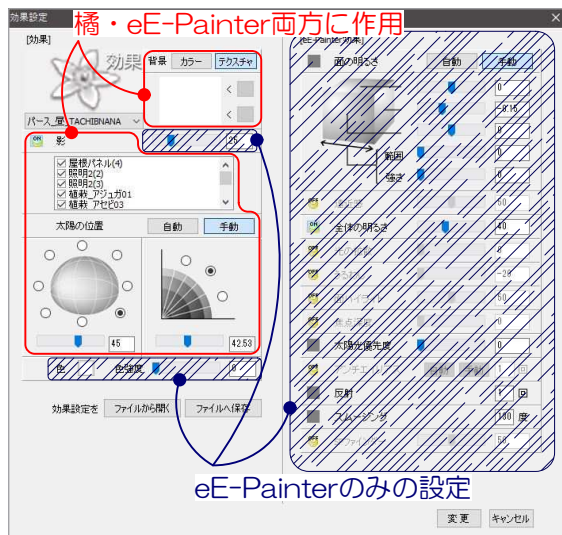
太陽の位置とカメラの位置が同じ方向⇒側面より正面が暗い。



イメージB 効果設定「パース_昼_TACHIBANA」

太陽の位置とカメラの位置が同じ方向⇒正面より側面が暗い。





1 太陽の位置と高さ

1-1 左側の「太陽の位置」を「手動」に変更します。

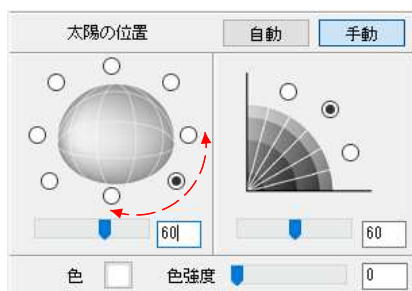
手動にすると太陽の位置、太陽の高度、色の調整ができるようになります。チェックまたはスライダー、数値を入力して調整することができます。

橋レンダリングでは間接光(直接光が物体を照らした後に反射する光)の計算も行っていますので、やわらかい影が落ちます。再描画で確認したイメージ程影は濃くありません。

立体感があるパースに仕上げるためには、コントラストや陰影を意識しましょう。



詳細説明 [橋～TACHIBANA パース作成のポイント] で検索



1-2 太陽の位置を調整します。

できるだけ陰影を強調できるような位置にしましょう。※太陽の位置はカメラを中心とした時の向きになります。

●基本的な考え方

カメラの位置と反対方向に太陽の位置をとる。

⇒ほとんどの場合、プランの見せたい面が正面になることが多いので正面が明るくなるようにする。

⇒正面と側面のコントラストができることで立体感が増します。

⇒陰がしっかりとカメラに映る部分にです。
(陰が少ないと陰影が弱い)

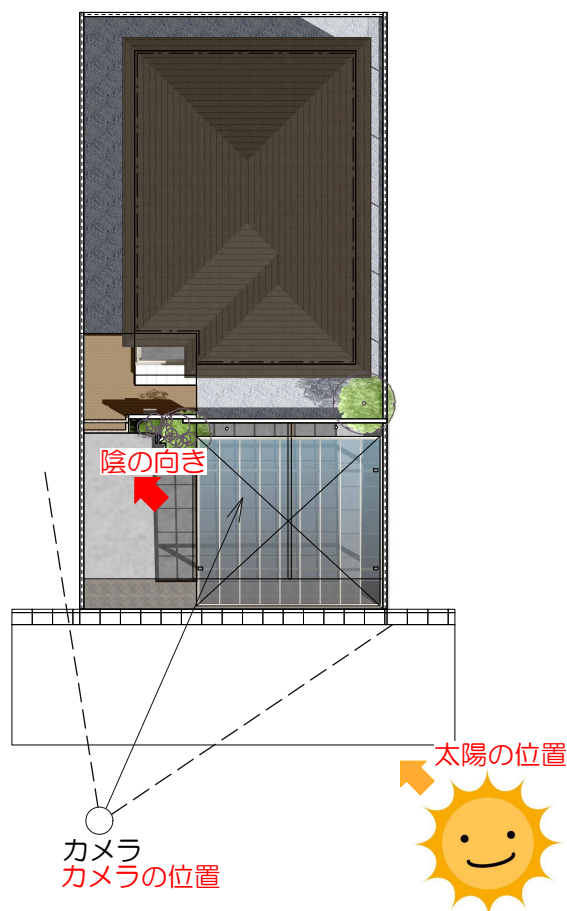
●その他の考え方

陰を落としたい位置がある。

⇒太陽の位置を変えると陰の向きをコントロールできます。太陽の高さで陰の長さかわります。木洩れ日の表現など。

家の中から外を見たアングル

⇒太陽の位置は逆光になる位置に設定し、日が室内に射し込むイメージにする。



②橋レンダリング設定の日差しの設定の違い。



2 日差しの設定

2-1 レンダリング開始後、橋を選択した後に表示される「橋レンダリングの設定」の「日差し」の設定はお好みに応じて選択が可能です。

その他の明るさとコントラストの調整方法
⇒SPパレットで調整する



詳細説明 [橋～TACHIBANA パース作成のポイント] で検索

3 SPパレットで画像を調整する



イメージA

橋レンダリング設定 日差し「標準」
標準の仕上



イメージB

橋レンダリング設定 日差し「強め」
強い日差しを受けた印象。
床面と陰のコントラストが強く、全体的に明るい印象。